

# 平成 26 年度市民モニターアンケート（第 3 回）集計結果

## ○【テーマ】「生涯学習講座」について

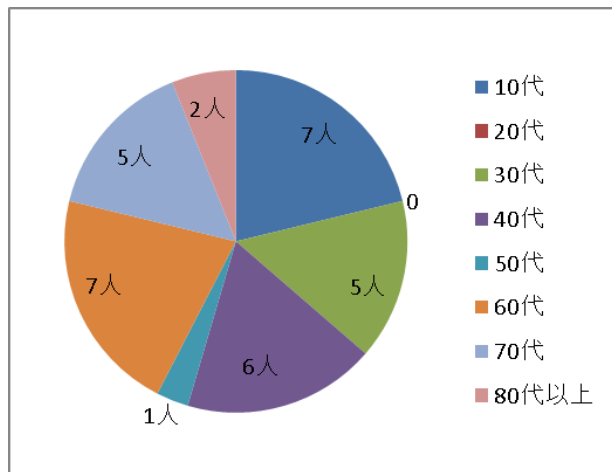
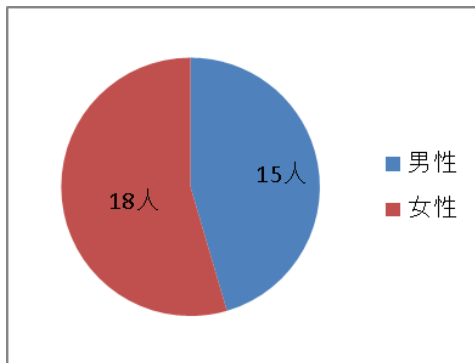
### 調査の目的

えびの市では、学びたい人が学びたい時に学べるような学習講座の機会を提供することにより、市民が生涯学習を通して生きがいを見出し、地域社会へ参画すること等で地域の教育力向上を図っている。

その中でパソコン講座や市民大学、出前講座等を開催しているが、市民のニーズにあった生涯学習講座実施の基礎資料とするためにアンケートを実施した。

### 調査の概要

- (1) 調査期間 平成 27 年 1 月 27 日 ～平成 27 年 2 月 27 日  
※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 38 人
- (3) 回答者数 33 人 (回答率 86.8%)
- (4) 担当課 社会教育課



### 調査結果考察

#### 【問 1】

市が開催する「生涯学習講座」に参加したことがあるかについては、約 6 割強が「参加したことがない」という回答で、残念ながら「参加したことがある」人の方が少ない結果となった。

#### 【問 2】

問 1 で「参加したことがない」と回答した人の理由として、「講座があることを知らなかった」「時間帯が合わない」が最も多かった。

学生や仕事を持つ世代などが「参加したことがない」を選択しており、この世代が募集記事を

目にすることが少ないことや、現在実施されている講座などの時間帯がこの世代と合わないことなどがうかがえた。

**【問 3】**

市が開催する「生涯学習講座」に「参加したことがある」と回答した人に、これまで参加した講座の数や内容について質問したが、「2～5 講座」が多く 6 人であった。「10 講座以上」という回答も 2 人あり、参加したことがある人は複数の講座に参加する傾向があることがわかった。

**【問 4】**

参加してみたいと思う講座については、「書道」と「ヨガ」が最も多く、2 番目が同数で「絵画」「手話」、3 番目が同数で「生け花」「茶道」「エアロビクス」となっている。

その他、受講してみたい講座として、スポーツ、英語や中国語などの語学、日本舞踊、ヒップポップダンスなどがあった。

**【問 5】【問 6】**

講座に参加しやすい時間帯や曜日については、50 代以下の多くが水曜日から日曜日の「夕方（18 時～20 時）」「夜間（20 時以降）」を選択し、60 代以上では火曜日から土曜日の「午前」「午後」の選択が多かった。

**【問 8】**

講座の実施時期については、「4 月～6 月」が 4 割強で最も多く、2 番目に「7 月～9 月」が 3 割弱となっており、早い時期での開催を望む人が多かったが、4 月は団体などの会合が多いため、避けてほしいとの意見もあった。

**【問 9】【問 10】**

生涯学習講座における託児サービスの実施については、「育児中の方のために行った方がよいと思う」が半数だったが、3 割弱の人が「育児中の方は忙しいので、託児サービスを行っても講座に参加する人は少ないと思うので必要ないと思う」を選択されていた。その他は「わからない」と「無回答」であった。

「託児サービスを行った方がよい」を選択した人に料金について質問したが、「100 円～300 円程度」が約半数、「300 円～500 円程度」が約 3 割で、その他の意見として、ボランティアなどの呼びかけを行い、無料で利用できる体制を作ると良いのではという意見があった。

**【問 11】**

生涯学習講座の参加者募集に関するアイデアについては、「カラフルで人を引きつける広告をつくる」「スーパーなどにチラシを貼る」「事業所にポスターを貼ってもらう」「各団体や趣味のグループに関係する講座について周知する」「これまでどおりの広報でよい」などがあった。

## 【問 12】

最後の「生涯学習講座」についての意見では、講座のテーマと講師をセットにして公募するというものや、高齢者の知恵や物づくりを取り入れた講座、子どもと一緒に参加できる講座などがあった。

また、グループや団体等に所属し活動する中でホームページ、チラシ、広報等を書く機会がある人も多いため、文書作り講座などを実施してはどうかという意見もあった。

その他、生涯学習講座について、様々なアイデアや現在の実施状況に対する多数の意見があった。

## 調査結果まとめ

生涯学習講座の参加状況については、モニターの6割強の人が参加したことがなく、その理由が「講座があることを知らなかった」「時間帯が合わない」との回答が多く、講座の周知方法の工夫や参加しやすい時間帯・曜日・実施回数などを考慮する必要性があると感じられた。

時間帯は、若い世代の多くが週の後半の「夕方（18時～20時）」「夜間（20時以降）」を選択し、60代70代以上では「日中（午前・午後）」を選択した人が多かった。

また、実施回数は単発的な講座より継続性を求める声が多いことから、学習意欲が感じられ、自己啓発に積極的であることがうかがえる。

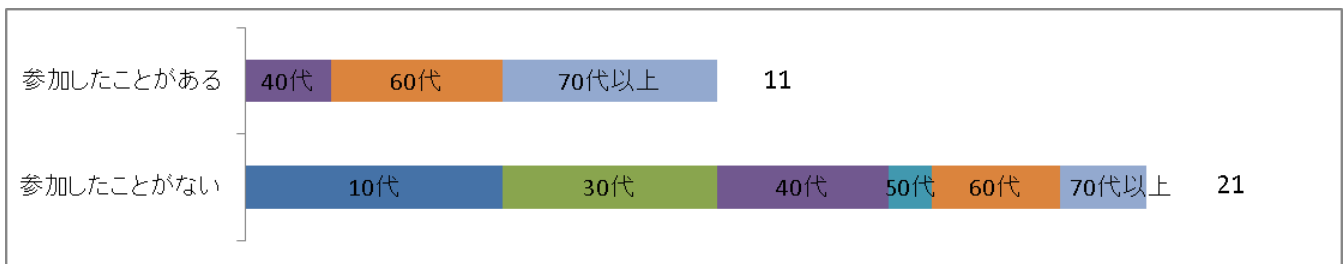
その他の意見として、「期間を短めにして講座の選択肢を増やす」との意見があり、参加してみたい講座の種類も多岐にわたることから、講座内容や実施方法などを改善し、より多くの人に参加していただける講座を企画していく必要がある。

## ◆◆◆ 調査結果 ◆◆◆

### 1. 生涯学習講座の参加状況について、お伺いします。

問1 これまでに市が開催する「生涯学習講座」に参加したことがありますか。

選択肢	回答数
① 参加したことがある	11
② 参加したことがない	21
計	32



問2 問1で、「2 参加したことがない」と回答した方のみお答えください。これまでに参加しなかった理由はどれですか。(複数回答可)

選択肢	回答数
① 講座があることを知らなかった	12
② 参加したい講座がない	3
③ 時間帯が合わない	8
④ 会場までの距離が遠い	2
⑤ 子どもを見てくれる人がいない	1
⑥ その他	1
計	27



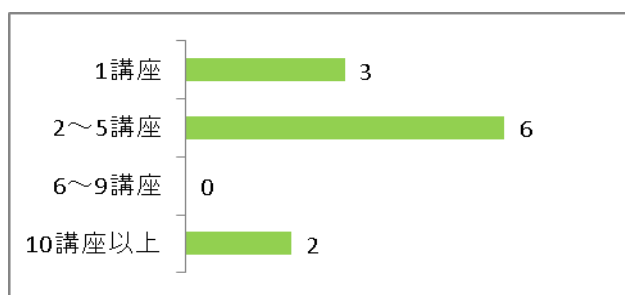
#### ○ その他の内容

- ・ 平日は仕事で時間帯が合わない。

問3 問1で「1 参加したことがある」と回答した方のみお答えください。

(1) これまでに受講された講座の数はいくつぐらいですか。

選択肢	回答数
① 1講座	3
② 2～5講座	6
③ 6～9講座	0
④ 10講座以上	2
計	11



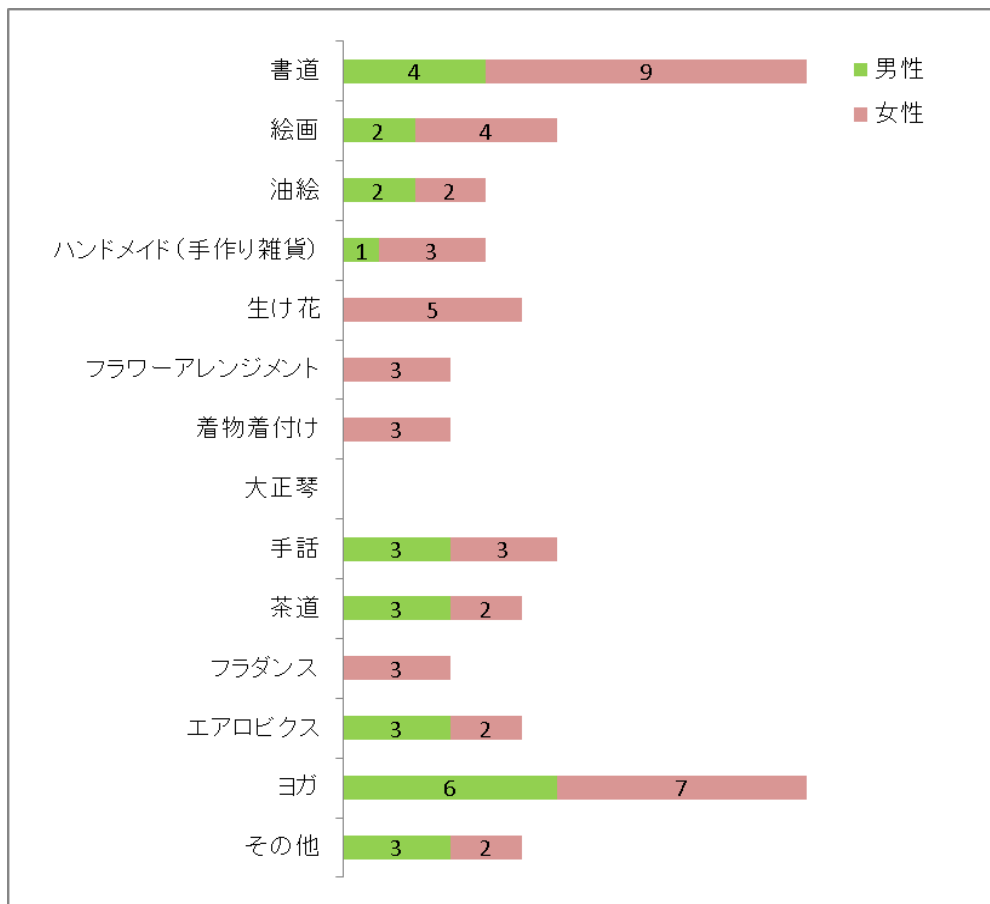
(2) これまでに受講されて特に良かったと思われた講座は何ですか。講座名、または講座内容などを教えてください。

- ・ 小林市内のひまわり法律事務所の弁護士による憲法講座。
- ・ 十数年前になりますが、パソコンの講習を国際交流センターにて第1回目に受講し、本当によかったと今思います。
- ・ ①歴史講座（郷土史等、案内人講座）、②料理教室、③パソコン講座、④古文書講座、⑤まちづくり講座、⑥健康・保健・体力づくり講座
- ・ 寿大学でいろいろ勉強しました。出前講座も何回か受けました。
- ・ 健康講座で栄養面の指導や体力づくりについて学びました。
- ・ 中国語
- ・ 健康講座、心の講座、具体的に講座名は忘れましたが、少しとりかかるには「心」をテーマにしたほうは難しかったですが、他を思いやる心や目のつけどころなどいいと思いました。
- ・ 男女共同参画セミナー、人権セミナー
- ・ パソコン講座（ワードとエクセルの基本操作）
- ・ 絵画教室
- ・ 料理

## 2. 生涯学習講座の内容について、お伺いします。

問4 次の中から参加してみたいと思う講座があれば、すべて選んでください。

選択肢	回答数	選択肢	回答数
① 書道	13	⑧ 大正琴	0
② 絵画	6	⑨ 手話	6
③ 油絵	4	⑩ 茶道	5
④ ハンドメイド(手作り雑貨)	4	⑪ フラダンス	3
⑤ 生け花	5	⑫ エアロビクス	5
⑥ フラワーアレンジメント	3	⑬ ヨガ	13
⑦ 着物着付け	3	⑭ その他	5
		計	75



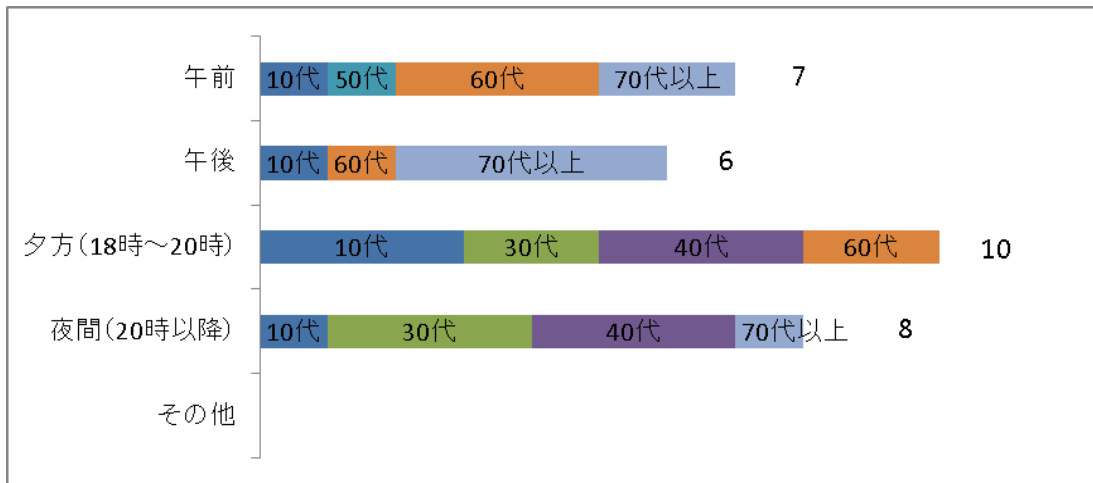
### ○ その他の内容

- ・ スポーツ講座
- ・ 英語と中国語会話講座
- ・ 語学（外国語など）
- ・ 日本舞踊
- ・ H I P H O P（ヒップホップダンス）

### 3. 生涯学習講座の開催時期や時間帯、開催回数などについて、お伺いします。

問5 講座に参加する場合、参加しやすい時間帯はどれですか。

選択肢	回答数
① 午前	7
② 午後	6
③ 夕方(18時～20時)	10
④ 夜間(20時以降)	8
⑤ その他	0
計	31



○ その他の内容

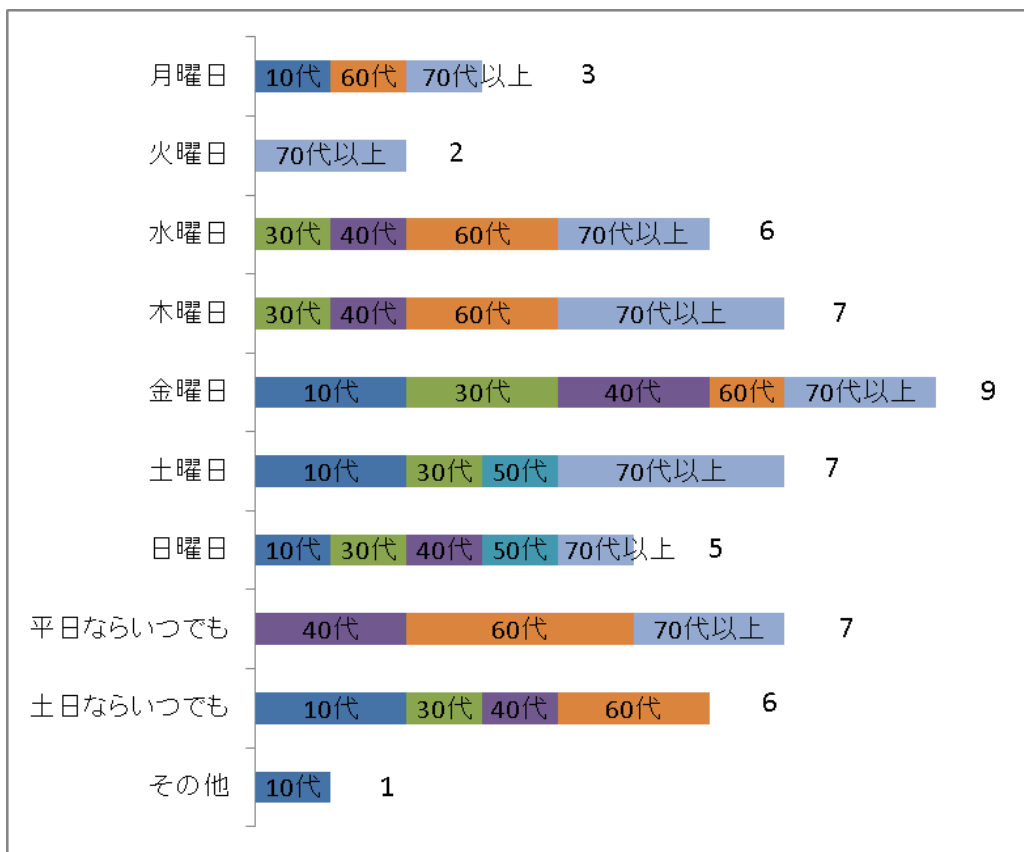
- ・ なし

○ その他、開催時間帯についてのご意見

- ・ 午前9時~12時
- ・ 私の場合は夜より午後の方が時間帯に合わせられる。

問6 講座に参加する場合、参加しやすい曜日があれば、すべて選んでください。

選択肢	回答数
① 月曜日	3
② 火曜日	2
③ 水曜日	6
④ 木曜日	7
⑤ 金曜日	9
⑥ 土曜日	7
⑦ 日曜日	5
⑧ 平日ならいつでも	7
⑨ 土日ならいつでも	6
⑩ その他	1
計	53



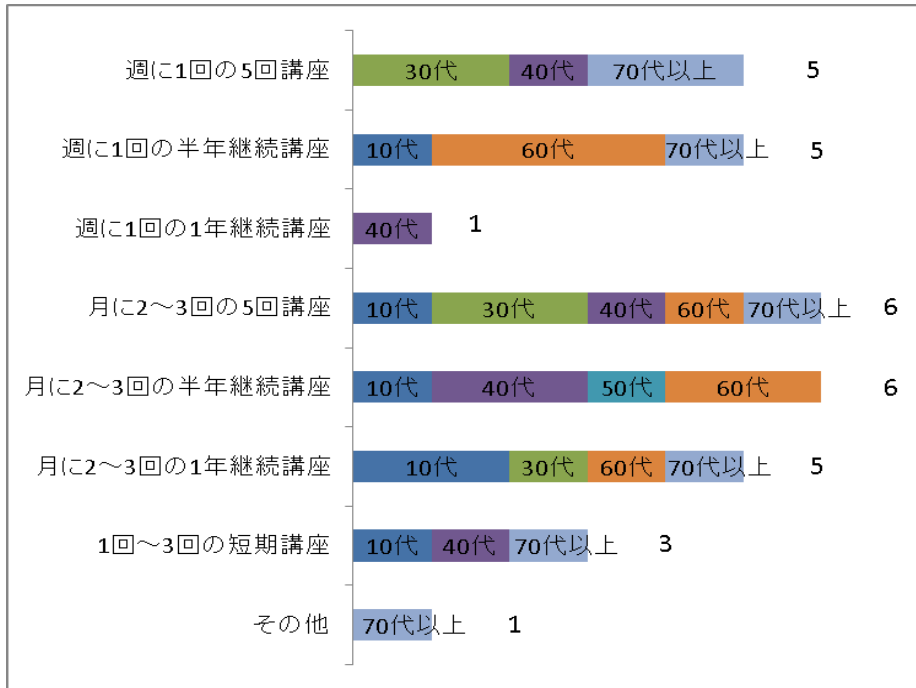
○ その他の内容

- ・ 祝日などに行う方が参加しやすい。

問7 講座の開催形態について、開催の間隔や開催数はどのような形態が参加しやすいと思われますか。

選択肢	回答数
① 週に1回の5回講座	5
② 週に1回の半年継続講座	5
③ 週に1回の1年継続講座	1
④ 月に2~3回の5回講座	6
⑤ 月に2~3回の半年継続講座	6
⑥ 月に2~3回の1年継続講座	5
⑦ 1回~3回の短期講座	3
⑧ その他	1
計	32



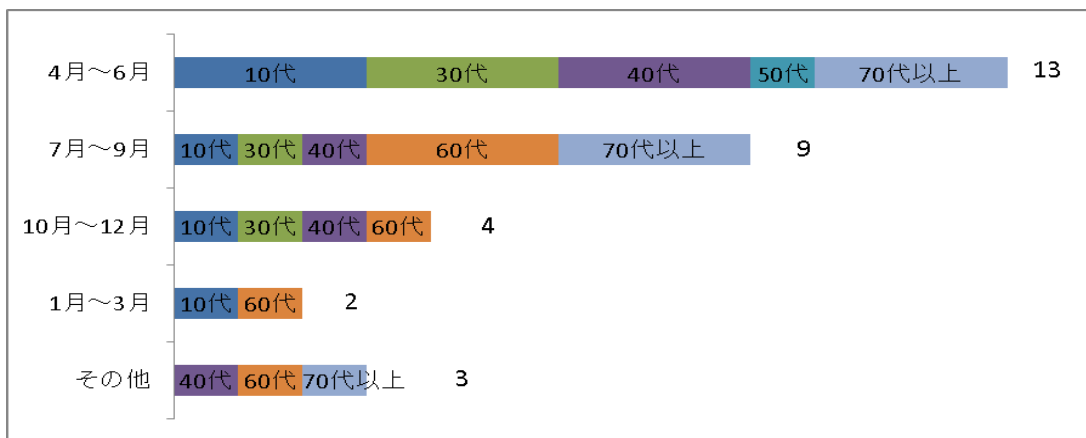


○ その他の内容

- ・ 年間を通じて毎月1回の講座。

問8 講座の実施時期については、いつ頃が良いと思われますか。

選択肢	回答数
① 4月～6月	13
② 7月～9月	9
③ 10月～12月	4
④ 1月～3月	2
⑤ その他	3
計	31



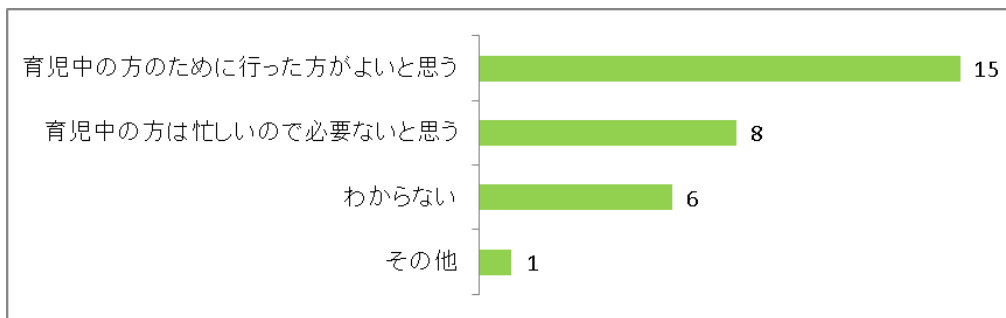
○ その他の内容

- ・ 年間を通しての講座。
- ・ 12月から4月までは厳寒や、団体の会合が多いので避けたい。
- ・ 4月～9月
- ・ 1年

4. 生涯学習講座とあわせた託児サービスの実施について、お伺いします。

問9 生涯学習講座の開催にあわせて、託児サービス(有料)を行った方がよいと思われませんか。

選択肢	回答数
① 育児中の方のために託児サービスを行った方がよいと思	15
② 育児中の方は忙しいので、託児サービスを行っても講座に参加する人は少ないと思うので必要ないと思う	8
③ わからない	6
④ その他	1
計	30

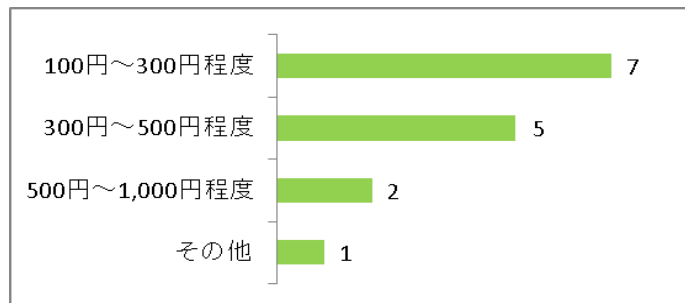


○ その他の内容

- ・ 子どもがいない

問10 問9で「1 託児サービスを行った方がよいと思う」と回答した方のみお答えください。託児サービスの料金として、1時間あたりどれぐらいが適当だと思われませんか。

選択肢	回答数
① 100円～300円程度	7
② 300円～500円程度	5
③ 500円～1,000円程度	2
④ その他	1
計	15



○ その他の内容

- ・ 1人でも多くの参加者がいるためには、無料でできるような体制づくりにしていけば、

若い方々の参加が増えると思います。そのためには、講座をするためのボランティアへの呼びかけもしていくべきではないかなと思います。

## 5. 参加者の募集方法について、お伺いします。

問 11 生涯学習講座の参加者募集については、現在、「広報えびの」や市ホームページなどに募集記事を掲載し行っているところです。募集方法について何か良いアイデアがありましたら教えてください。

- ・ 見た目がカラフルで人を引きつけるような広告もつくる。
- ・ スーパーなどにチラシを貼る。
- ・ 開催の前日に広報スピーカー等で再度、市民に伝えてもらおうと思います。
- ・ 各事業所等にどのような講座がえびの市にあるというポスター等を作り、掲示してもらおうなどしたらどうでしょうか。なかなか広報だけでは目を通して見る方は少ないかもしれません。
- ・ 回覧板の中に募集記事を載せる。
- ・ 広報えびの等、現状の方法で良いとは思いますが、できたら趣味等の団体、グループに係る講座のみ、知らせる手だてを講じられたら、少しは多くなるのでは。
- ・ 「広報えびの」、市ホームページ等で良いと思います。特にありません。

## 6. 最後に、お伺いします。

問 12 「生涯学習講座」について、ご意見やご提案などがあれば、自由にご記入ください。

- ・ 学生には良く分からないので、「生涯学習講座」がどんなものかを知りたい。
- ・ 現場の担当者が苦勞するのは、市民が 1 人でも多く受講したいと希望する講座のテーマと講師役の選択だろうが、この 2 つをセットとして広く一般から募集してみたらどうか。
- ・ 小さい子供がいる方も参加できる講座があるといいと思います。  
※子供といっしょにできるヨガや料理教室
- ・ 動物(犬・猫)ペットを飼っている方(これから飼われる方)への講座  
※市への登録の仕方、去勢・避妊手術について、散歩や屋外で飼う時のマナーなど
- ・ やはり、その時やる気がんばって行きますと後日必ず役に立つと思われまので進んで開催をお願いします。
- ・ 現在「生涯学習講座」は、どちらかといえば高齢者の方がほとんどだと思います。  
できれば、これからは若い世代と高齢者の方々が共有できるような講座作りと、趣味的なものばかりではなく、高齢者の方々から得られる昔の知恵、物作り等も組み入れるなど、今までと違う講座作りも目指してほしいです。

今一度、どのような講座があるのか広報しつつ、新しい内容を取り入れて行くべきと思います。そして受講した市民の方々が楽しく、ためになったと思われるような「生涯学習講座」にして頂きたいです。

- 選択科目を多く取り入れて参加しやすくする。
- 期間も長いよりは短めにして、選択肢を増やす。
- 老若男女共に参加できる科目を増やす。
- 指導者に適格者が市内におられないという問題があるかも知れないが、産業・経済・法律・消費生活・旅行等の時代の動きにあう講座ができないか。
- 市の出前講座があるが、その活用法を考えたい。ある程度の人数が集まらないと開けないので、身近に聞いたり活動したりすることはできないだろうか。
- 午前・午後・夜と都合の良い時間帯に受講できるよう、バランスを考えて頂きたいです。
- 共に学び知識を豊かにすることは人間性を豊かにすることであり、生涯学習大いに結構。経済面の豊かさ追及だけでなく、知的・情緒の豊かさを図り、当地の子どもたちの成長に寄与できればいい。
- 学習に参加した時、自分の考えていたのと違っている場合もあるので、半年間は受講してもらうこと。  
楽しい講座や学級の申込みの時、前回された方が多い時、入れなかつたりした時がありましたので再考してほしい。
- 各自治公民館、又はコミュニティー単位において、集中地域ごとに講座の取り組みを申し入れることも良いのではないかと考えます。
- 「生涯学習」という言葉はもう2昔ぐらい前に聞いた言葉です。その言葉が悪いとは思いませんが、もっと時代に合った言葉に変えてみてはいかがでしょうか。
- 情報の伝達、伝わる文章づくりの講座など。市内には活動団体の中でホームページ、チラシ、広報等書く機会も多いと思います。文章の書き方を勉強できたら良いと思います。
- 小学生の子供をもつ母親など、講座がある時に子供が病気になったりするので、なかなか参加できないのが現状だと思います。